

## 令和元年東日本台風災害による農業関係の被害と対応状況について

長野県農政部

## 1 農業関係の被害状況

令和元年東日本台風により、千曲川流域を中心に農作物や生産施設・農業機械、農地・農業用施設に甚大な被害が発生し、記録が残る過去 40 年間で最大の被害額となった

農政部まとめ（令和 2 年 1 月 20 日確定）

農業関係被害額	666 億 6,807 万円	
被害の別	発生面積・箇所数・台数	被害額
農作物・樹体	2,062 ha	19 億 2,512 万円
生産施設・農業機械	1,219 箇所・7,126 台	85 億 7,495 万円
農地・農業用施設	10,365 箇所	561 億 6,800 万円

※「農業集落排水施設」の被害額を除く

## 2 地域別の被害状況（被災市町村数：55 市町村（16 市 18 町 21 村））

（単位：千円）

地域 振興局	農作物・樹体		生産施設・農業機械		農地		農業用施設		被害額 合計
	面積 (ha)	金額	棟・台	金額	箇所	金額	箇所	金額	
佐久	211.2	141,902	526	368,737	3,257	7,122,000	1,894	11,986,000	19,618,639
上田	135.2	38,405	142	177,566	892	891,000	780	5,570,000	6,676,971
諏訪	0.2	91	4	51	5	8,000	38	263,000	271,142
上伊那	91.1	106,543	168	48,098	9	15,000	16	47,000	216,641
南信州	72.3	11,399	0	0	1	1,000	3	3,000	15,399
松本	16.4	6,174	0	0	200	141,000	88	212,000	359,174
北アルプス	0	0	0	0	3	4,000	3	16,000	20,000
長野	846.2	1,326,532	7,108	7,467,062	2,046	15,201,000	197	7,474,000	31,468,594
北信	689.0	294,074	397	513,436	613	4,181,000	320	3,033,000	8,021,510
合計	2,061.6	1,925,120	8,345	8,574,950	7,026	27,564,000	3,339	28,604,000	66,668,070

## 3 作目別の被害状況

作目	被害額（千円）	主な市町村	備考
米穀類	215,413		
うち 米	202,929	長野市、佐久市	
果樹	1,196,522		
うち りんご	997,884	長野市、小布施町、中野市、須坂市、箕輪町	果実被害 879,989 千円 樹体被害 117,895 千円
うち もも	137,658	長野市	すべて樹体被害
うち なし	25,958	長野市	
野菜	102,048		
うち ながいも	65,408	長野市	
きのこ	378,768	中野市、長野市、小布施町	
花き	17,722	長野市	
その他	14,647		畜産物、水産物等
合計	1,925,120		

## 4 営農の再開状況

### ○ 果樹園・畑

- 千曲川の氾濫により堆積したゴミや土砂（長野・北信地域の6市町で約420ha）について、農業ボランティアによる排土や国庫補助の災害復旧事業により、6月末までに概ね撤去が完了
- これにより、被災したりんごやもも・長いも等の樹園地等では春先から平年並みに作業が実施され営農を再開。一部、改植が必要となった樹園地は国庫補助事業を活用し、順次改植を実施



【千曲川沿いの6市町で、果樹園等の土砂撤去作業がほぼ完了】

### ○ 水田

- 取水施設の被災で影響を受けた水田約1万haのうち、99%で取水期（4月）までに仮復旧等により農業用水を確保し、営農を再開
- 用水が確保できず、水稻の作付けができない農地では、大豆やそば等の代替作物の選定、栽培技術の指導を行うとともに、転作作物への交付金の活用を周知するなどの支援を実施
- この他、大規模な土砂流入等で復旧に時間を要する農地（佐久・上田地域で123ha）については、災害復旧事業を活用して復旧工事を実施中

## 5 農地・農業用施設の復旧状況

### (1) 災害査定状況

令和元年12月2日から34班で農地・農業用施設の災害査定を実施。査定額は、**31,893,913千円**

<農地 内訳>

(単位：千円)

区分	田	畑	計
箇所数	558	2,353	2,911
査定額	3,930,470	13,033,000	16,963,470

<農業用施設 内訳>

(単位：千円)

区分	頭首工 <sup>※1</sup>	水路	用排水機場	農道	その他 <sup>※2</sup>	計
箇所数	330	224	37	140	25	756
査定額	6,461,962	2,262,407	5,449,844	546,235	209,995	14,930,443

※1 河川から農業用水を取水する施設

※2 ため池、橋梁など

### (2) 災害復旧の進捗状況

- 国庫補助の災害復旧事業について、市町村が事業主体となり、早期の営農再開に向け査定前着工制度を活用して工事に着手。災害発生年度を含め3か年（令和4年3月末まで）で全ての復旧工事を完了する計画
- 令和2年7月末時点で、農地・農業用施設3,667箇所のうち、約6割で復旧工事が完了

### (3) 市町村への技術支援

- 県では、発災直後から地域振興局農地整備課職員（延べ1,318人）が、被害状況の調査や復旧工法の検討、河川協議、査定設計書の作成など市町村を支援。また、令和2年度は、特に被害の大きい市町村に職員を派遣するほか、同管内の地域振興局農地整備課の職員体制を強化
- 国からは、被害が大きい長野市及び技術職員不在の5町村（川上村、南相木村、北相木村、小布施町、栄村）に延べ299人の職員を派遣。査定設計書の作成、土砂撤去の調整等を支援
- また、全国知事会への要請により、7県（富山県、石川県、福井県、愛知県、三重県、滋賀県、鳥取県）から、被害が甚大であった佐久管内に延べ257人の職員を派遣



【浸水した排水ポンプを復旧（長沼排水機場）】



【損壊した水路（サイホン）を撤去し、新しい管を設置】



【損壊した農道の復旧が完了し、通行が可能】

## 6 生産施設・農業機械の復旧状況

### (1) 集出荷施設・加工施設等

国の「中小企業組合等共同施設等災害復旧事業（グループ補助金）」及び「強い農業・担い手づくり総合支援交付金」を活用し、施設の復旧工事を実施中

#### ○ グループ補助金

農業関係では現在までに 11 グループの認定が完了し、被災した集出荷施設や農産物直売所、きのこ生産施設等の復旧工事を実施

- <復旧状況>
- ・農産物直売所「JA アグリながぬま」 4月29日に再開
  - ・長野平ライスセンター 6月30日に復旧完了



【浸水被害を受けた長野平ライスセンターの米倉庫の復旧が完了】

○ 強い農業・担い手づくり総合支援交付金

集出荷場「長野平フルーツセンター」の選果設備工事に着手し、令和2年9月完了予定

(2) 農業機械等

被災した農業機械や格納庫、農業用ハウス等の修繕・再建、撤去について、国の経営体育成支援事業（被災農業者向け）により市町村と協調して県の上乗せ補助を行い、支援を実施中

○ 補助率（農業機械・格納庫の場合）

国：5/10 以内 県：2/10 以内 市町村：2/10 以内

○ 実施状況

市町村数	件数	事業費
26	8,026	6,857,627 千円

7 農業ボランティア活動への支援

- 果樹園に堆積したゴミや根周りの土砂撤去等について、災害復旧事業が本格化するまでの間、農家のニーズに対応するため、JAや長野県NPOセンターが主体となり「信州農業再生復興ボランティアプロジェクト」を立ち上げ、農業ボランティア約8,500人の受入れを実施
- 県では、プロジェクトの立ち上げにあたっての関係機関との調整や、ボランティアの活動にあたっての技術的な支援のほか、災害復旧事業の直営施工方式を活用した重機ボランティアの活動支援に向け、市町村との調整等を実施



【農業ボランティアによる果樹園のゴミ・土砂の撤去】

8 今後の対応について

- 農地・農業用施設の早期復旧に向け、災害復旧事業の実設計書の作成や河川協議、計画変更の手续など、市町村への技術支援を実施するとともに、水稻の作付けができない農地における代替作物の選定や栽培技術の指導、転作作物への交付金の活用の周知等を実施する
- 集出荷施設や加工施設、農業機械等の早期復旧に向け、事業が円滑に実施できるよう、引き続き支援していく